

8

お役立ち情報

再チャレンジ全般について知りたい・・・

以下のホームページ等では、女性の再チャレンジについてさまざまな情報を得られるほか、各機関が実施しているセミナーや各種相談などのサービスについても知ることができます。

女性いきいき応援ナビ(内閣府)

<http://www.gender.go.jp/re-challenge/>

女性の再チャレンジについて総合的な情報を提供

チャレンジ・サイト(内閣府)

<http://www.gender.go.jp/e-challenge/>

女性のチャレンジについて総合的な情報を提供

独立行政法人国立女性教育会館

<http://www.nwec.jp/>

再チャレンジについての情報をはじめ、全国の男女共同参画センター等で実施する講座等を検索できる

女性と仕事の未来館

<http://www.miraikan.go.jp/>

仕事と子育ての両立のための情報を提供。電話やeメールでのキャリアカウンセリングもある

財団法人21世紀職業財団

<http://www.jiwe.or.jp/>

育児や介護等による退職者の再就職準備に役立つセミナーや情報誌の提供、専門のコンサルタントが面談しながら再就職プランづくりを支援する「再チャレンジサポートプログラム」等を実施

各都道府県・市区町村の男女共同参画センター(女性センター)のホームページ

学ぶ、能力アップするには・・・

再チャレンジを目指す女性の学習や技能の習得、資格の取得などを支援する機関の情報を集めました。

まずはじめに

全国の男女共同参画センター(女性センター)などの支援機関では、再チャレンジを目指す女性を対象に、パソコンなどの技能の修得・向上や資格取得、ビジネスマナー等のセミナーを開催しています。その多くは参加費無料、託児サービス付きです。詳細は各支援機関に直接お問い合わせください。

本格的に

訓練、学習、能力アップするには、以下のホームページ等もあります。3ヶ月、6ヶ月の学習期間を要するものもあります。

女性のキャリア形成支援サイト(独立行政法人国立女性教育会館)

<http://winet.nwec.jp/career/>

女性が新しい分野へチャレンジしていくための多様な事例、学習支援情報、関連情報

教育訓練給付制度・厚生労働大臣指定教育訓練講座の検索サイト(中央職業能力開発協会)

http://www.kyufu.javada.or.jp/kensaku/T_M_kensaku

学習の形態(通学通信、eラーニング)や地域、分野から講座を検索できる

求職者向け公共職業訓練コース情報(雇用・能力開発機構)

<http://www.ehdo.go.jp/loc/1.html>

全国の職業能力開発施設等の職業訓練コース情報

大学通信教育のホームページ(財団法人私立大学通信教育協会)

<http://www.uce.or.jp/>

加盟する全国の大学、大学院、短期大学の通信教育制度の情報

草の根eラーニング(eラーニングビジネスモデル研究会)

<http://www.g-learning.jp/>

就職・仕事に役立つスキルを学ぶ情報

日本看護学校協議会

<http://www.nihonkango.org/schools.html>

協議会に加盟する全国の看護学校へのリンク集

YES-プログラム(中央職業能力開発協会)

<http://www.bc.javada.or.jp/yes/>

コミュニケーション能力、基礎学力、ビジネスマナー等の就職基礎能力の修得支援

再就職するには・・・

自分の希望する仕事や働き方を探し、就職するための主な支援機関として、地元の男女共同参画センター(女性センター)やハローワーク(マザーズハローワーク)のほか、以下のホームページ等もあります。

再就職サポートサイト
財団法人21世紀職業財団
<http://www.saisyuusyokusupport.jp/>

再就職をeラーニングと情報の両面から応援するサイト
eラーニングは、チェックリストやワークシートを行いながら
準備から就職活動までを学べる

独立行政法人雇用・能力開発機構
<http://www.ehdo.go.jp/>

職業能力の開発、雇用機会の創出や雇用改善のための支援及びキャリア
形成の支援
支援サイトや各都道府県のホームページも閲覧できる

育児と両立するには・・・

子育て中の女性が再チャレンジするとき、最大の課題は仕事と育児の両立ではないでしょうか。地域により、さまざまな育児支援サービスがあります。まずは地元の自治体や支援機関の情報を集めて、身近にどのようなサービスがあるか調べてみましょう。さまざまな相談ができる窓口や、同じような思いを持つ女性との交流の場も設けられています。

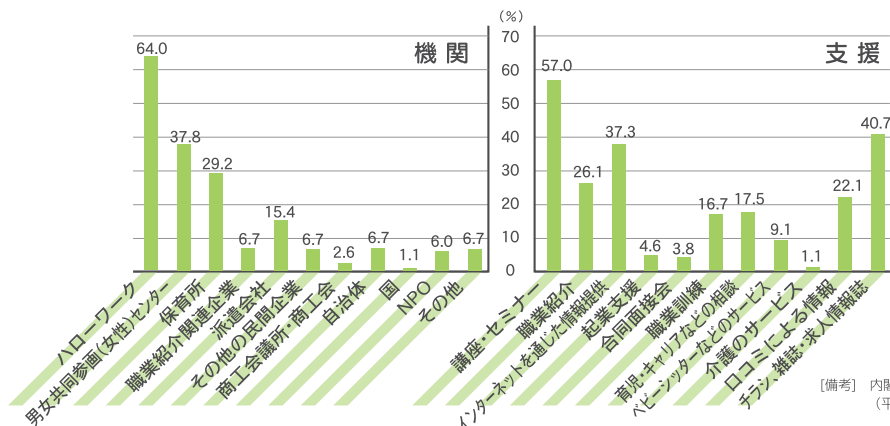
子どもをどこに預ける？

<〇〇市の例>

預け先		申込先	年齢	預かり時間
許可保育所	公立	市へ直接	0歳～就学前	平均して11～12時間
	私立		0歳～2歳	
許可外保育施設		施設へ直接	0歳～就学前	各所任意
ファミリー・サポート・センター		センターへ直接	各所で基準を設置	各所任意
子育て支援センター (一時保育室)		市または直接センターへ	0歳～就学前	8:30～16:30 各所任意
保育室 保育ママ	自治体系	市保育課	0歳～就学前	各所任意
	民間・NGO	直接		
ベビーシッター・ベビーホテル		直接	任意	各所任意
事業所内保育施設		—	任意	事業所任意
認定こども園	公立	直接(各都道府県)	0歳～2歳 (保育所型・幼保連携型)	7:30～18:30 (保育所型・幼保連携型)
	私立		3～就学前(幼稚園型)	7:00～15:00(幼稚園型)
幼稚園		直接	満3歳～就学前	教育時間4時間を標準とする

事業内容や時間等は地域や施設により異なります。施設または市区町村の担当窓口まで直接お問い合わせください。

図14 再チャレンジで役に立った機関・支援



[備考] 内閣府「再チャレンジ事例分析調査」
(平成21年3月)より作成。